

令和2（2020年度）北海道幌加内高等学校経営シラバス

校訓：「和」 綱領：敬愛和合 師弟一如 研鑽不止

学校教育目標(目指す生徒像)	目指す学校像
1 自ら考え行動する人間を育てる	1 生徒が学びを実感できる学校
2 礼儀正しい人間を育てる	2 保護者の理解・協力が得られる学校
3 心豊かな人間を育てる	3 食農・環境教育を的確に実践する学校
4 健康でたくましい人間を育てる	4 地域連携・共生を実践する学校
	5 職員相互が信頼できる学校

生徒	1年			2年			3年			合計		
	男10	女2	計12	男6	女3	計9	男9	女4	計13	男25	女9	計34
職員	校長1   教頭1   教諭10(国・社・教・英・保体・農)			教諭1   実習助手3								
	事務長1   事務補1   農務従事員2   公務補1   寮副舎監2   寮管理人2   ALT1											

**育成を目指す資質・能力**  
 自立した人間として、他者と協働しながら新しい価値を創造する3つの力を育成する。  
 (1) 自ら前に踏み出す力(失敗しても粘り強く取り組む力)を育成する。  
 (2) 自ら考え抜く力(自分で仮説を立て実験し検証する力)を育成する。  
 (3) 自ら進んで集団で働く力(多様な人々と協働して学び目標に向けて努力する力)を育成する。

**教育実践 2本の柱**  
 柱1：学習・指導方法、学習評価の改善(学校生活の中心である授業改善)  
 柱2：育成を目指す資質・能力を使った学びの「カリキュラムマネジメント」

**新10の目標(3年計画～2年目)**

- ①生徒一人一人の学習段階・キャリア段階を適切に把握し、個に応じた進路指導を展開します
- ②商品開発や地域資源の循環利用に関するプロジェクト学習を実践、地域創生への貢献を目指します
- ③進路選択ミスマッチ防止のためインターンシップ就業体験とチャレンジ職場体験の定着・活用したキャリア教育を推進します
- ④授業における「主体的・対話的で深い学び」の充実と観点別評価を適切に実施します
- ⑤ICT活用を活用した教材の共有化を積極的に図り、教育の質の向上を目指します
- ⑥外部教育機関等と連携し、「大学入学共通テスト」に対応します
- ⑦地域特産品「そば」を核とした農業の六次産業教育の充実、生徒主体の商店会運営等を継続展開します
- ⑧アグリタスク顕彰制度を活用し、多くの資格・検定を取得、生徒が自信と誇りが持てる教育を目指します
- ⑨地域や他機関と連携し、「そば」を活かしたボランティア活動や地域行事に参加し交流の活性化を目指します
- ⑩寮生活だから体得できる人間教育を推進し、相手の気持ちを考えて行動できる心が優しい生徒を育てます

**教育実践に向けた留意点**

- 土曜授業及び放課後の活用
- 地域との連携及び寮生の開寮土日祝祭日の有効活用
- 外部教育力の活用(上級学校、関係機関等との連携)
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、副舎監との連携
- 主権者教育の推進(周知・啓発)
- 効率的な学校組織(協働・迅速・変革・広報)
- 生徒の活動に関するボランティアの調査・研究
- 校務支援システム(道情ピ)とClassi(クラッシー)との連携

今年度の具体的取組方針

対象	中期目標	今年度の目標 P	目標達成のための評価の観点 D→(前期終了後C→A→P)→D→C→A
教	学習指導	○基本的知識・技能の習得 と思考力、判断力、表現力等の育成 ○主体性を学ぶ態度の確立	①授業改善に向けた取組の推進 ②観点別評価の円滑な実施 ③学習習慣の定着 ④計画的・効果的な土曜授業の展開
	生徒指導	○基本的生活習慣の確立 ○公共心、倫理観の育成 ○奉仕精神、他者への思いやりの気持ちの醸成 ○自ら考え主体的に行動する力の育成	①セルフコントロールによる生活習慣の確立と生徒事故(いじめ等)の未然防止 ①特別な支援配慮をする生徒の理解 ②コミュニケーション能力・自己有用感の醸成 ③個に応じた指導・支援の充実 ④農生会活動の活性化
	進路指導	○キャリア教育をとおした職業観・勤労観の育成 ○主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の育成	①地域、企業等と連携した指導の展開 ②体系的なキャリア教育の確立 ③離職状況調査と結果のフィードバック ④資格・検定取得指導の充実 ⑤外部教育力の有効活用
	専門・産業教育指導	○農業・産業教育をとおした地域社会に貢献できる社会人基礎力のある生徒の育成 ○農業に関する資格・検定試験指導力の向上	①農業の六次産業化教育の推進 ①グローバルな発想による商品開発 ②小規模人数による商店会運営の確立 ③安全衛生の徹底～「事故ゼロ」 ④基本的な知識・技能理解の深化 ⑤課題解決能力の育成
	健康安全指導	○心身の健康増進意識の育成と環境保全・安全意識の向上	①自己管理能力向上を図る教育の推進 ①各種検査データの有効活用と共有 ②健康安全環境の整備
学	寮教育指導	○自主・自律の精神の伸長 ○家庭学習等を推進する指導の工夫・改善	①自主性を養う寮体制の確立 ①寮役員の自主・自律性を養成 ②学習時間の有効活用
	信頼される学校づくり	○生徒・保護者・地域が望む教育活動の推進と開かれた学校づくり(「カリキュラムマネジメント」の実現) ○広報手段の有効活用と生徒募集の向上	①学習段階に応じた指導体制確立と2学期制導入による柔軟な教育課程の編成 ※たのしい授業の展開(教師力) ②学校情報提供の充実 ③私費会計の適正執行
	組織経営	○協働体制の確立 ○緊急時に冷静かつ的確な対応がとれる教育の充実	①学校評価と職員評価の活用(経営参画意識の高揚) ②震災等対応への組織的な体制構築 ②マニュアルの点検と未然防止体制の確立
運	教職員の資質向上	○授業力の向上(2022年度から年次進行で実施される新学習指導要領への対応)	①学習指導と学習評価の向上 ①カリキュラム・マネジメント研修の充実と確立 ②服務規律の徹底 ③メンタルヘルスの研修
	学		①学習成果を反映させ、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業が展開できたか ②ルーブリック評価を確実に明示させ、観点別評価が適切に実施(Classiを活用)できたか ③ICT活用を図り、授業・放課後・寮学習が体系的に実践できたか ④年間指導計画どおりに土曜授業が実施され、その成果が生徒の活動に明確に現れているか
校			①生徒一人一人の情報が全教職員間で共有され、統一した生徒指導が行われたか ①「生徒事故ゼロ」の目標(いじめ・人間関係・喫煙・セルフコントロール・性等)が達成できたか ①いじめの早期発見・迅速な対応とその情報共有、保護者・関係機関との連携が図られたか ②部活動や課外活動、地域と連携したボランティア活動等の充実・活性化が図られたか ③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関と連携し、困り感を持つ生徒への支援ができたか ④農生会執行部のリーダーシップが発揮され、農生会活動生徒満足度90%が実現できたか
			①インターンシップ就業体験の充実及び企業等との意見交換とそのフィードバックができたか ②1年次から生徒・保護者へ体系的なキャリア教育指導によるClassiを活用できたか ③過去3年間卒業生の離職状況調査を行い、その結果を分析・周知しキャリア教育に還元できたか ④アグリタスク顕彰制度「シルバーク」以上を複数名以上が取得できたか ⑤外部教育力(高大連携、官民)を積極的に活用し、キャリア教育力の向上が図られたか
営			①学校農場の適切な運営と農産物の高品質化及び資源の循環利用が図られたか ①地域の特性をいかした新商品開発と加工品の定期的な生産・販売が行われたか ①生徒主体で商店会を運営、キャリア教育と連動し、身に付けさせたい資質・能力を育成できたか ②食品安全衛生基準が遵守され、「事故ゼロ」が達成できたか ③素人そば初段位合格率100%、日本農業技術検定3級合格率70%以上が達成できたか ④プロジェクト学習の活性化が図られ、農業クラブ3大事業において全道・全国大会に入賞ができたか
			①各種事例研究による生徒の事故危機回避能力、自己の健康管理能力育成のため、指導の工夫・改善が図られたか ②学校・寮環境の点検・整備を実施するとともに、生徒の健康・安全管理が図られたか
運			①毎日学習時間や就寝時間等寮の規則を生徒自ら守ることができたか ①寮役員を中心に寮での良好な人間関係が築けたか(「寮内生徒事故ゼロ」を目指し未然防止) ②寮生一人一人の個人目標に応じた学習時間の過ごし方が定着したか
			①2学期制導入の利点をいかしたカリキュラムの編成、たのしい授業の実践ができたか ①生徒一人一人の学習段階やキャリア段階に応じた個別記録を作成、進路指導に活用されたか ①進学希望者へ対応するため「推薦入試対策個別指導」が実践されたか ①令和元年度末反省をもとに保護者・地域の期待が反映され、学校全体で実践されたか ①ホームページ・フェイスブック等で情報を素早く発信し、保護者・地域の学校理解が進んだか ③私費会計等予算が適正に執行されたか(中間報告、1ヵ月以内)
営			①3年計画目標(2年度)の新10目標の共有化が図られ、解決策が検討・実践されたか ①学校評価方法の改善と評価項目の精選・重点化が行われたか ①iPad活用により業務の効率化が図られるとともに、効率的な学校組織の編成ができたか ②危機管理マニュアルの徹底や教職員間、外部機関等との連携等により、事故の未然防止に努めたか
			①主体的・対話的で深い学びを推進し、観点別評価の実践、ICT・外部教育力の活用等により、授業の質の確保・向上に努めることができたか(生徒評価：授業わかりやすさ60%以上) ②規律違反事例周知の徹底と服務規律が守られ「教職員事故ゼロ」を継続できたか ③自分自身が健康で、元気な職場を提供して、生徒一人一人への有効な学習指導ができたか